

令和 7 年度市町村職員国内先進事例研修実施要領

1 目 的

本研修は、市町村職員が国内市町村等における先進事例について、現地視察及び関係職員等との情報交換等を通じて学ぶことにより、市町村職員の資質の向上や人材の育成を図るとともに、個性豊かな地域づくりの推進に資することを目的とする。

2 研修テーマ及び研修先

- (1) 住民主体型のまちづくり～地域づくり協議会の取組

【兵庫県佐用郡佐用町】

- (2) 廃校を活用した、あらたな観光・6次産業化のモデル施設とする取組

【兵庫県淡路市：のじまスコーラ】

- (3) 域学連携から始まる持続可能な地域づくり

【兵庫県洲本市】

3 施設見学先

- (1) 姫路城【兵庫県姫路市】

- (2) 龍谷フロートソーラーパーク洲本ほか【兵庫県洲本市内】

4 日 程

令和 7 年 1 0 月 2 8 日（火）～1 0 月 3 1 日（金） 4 日間

5 行 程

別紙のとおり

6 研修参加対象者及び参加人数

- (1) 参加対象者

市町村の一般職員

- (2) 経験年数等

原則、3 年以上の勤務経験（民間企業等の勤務年数（前歴換算）を含む。）を有する 3 5 歳以下の者とする。

- (3) 参加人数

1 7 名以内とする。ただし、1 0 名未満の場合は中止とすることがある。

7 参加費用

- (1) 当協会の負担

参加者が在勤地を出発し、在勤地に到着するまでの交通費（新千歳空港～神戸空港間の移動に係る往復航空運賃及び研修中の移動費用を含む）、研修先の受入れに係る費用及び懇親会費用の一部を負担する。なお、在勤地から集合場所／解散場所間の旅費は、鉄道賃及び車賃（バス運賃）のみ支給する。ただし、公用車、自家用車、駐車場及び航空機を利用する場合は原則、市町村の負担とする。

- (2) 参加者の負担

研修に伴う経費として参加者 1 名につき 3 3, 5 0 0 円を負担金（宿泊費、昼食代及び懇親会費用の一部）として参加者から徴収する。なお、参加市町村の旅費に関する条例の規定に基づく、参加者の日当については市町村の負担とする。

8 その他

- (1) 研修班ごとに取りまとめたレポートを当協会に提出すること。

- (2) レポートは研修報告書として取りまとめ、当協会ホームページに掲載する。